

2026 年 9 月 29 日
ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ株式会社

ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズによる 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社における 上流コンサルティング人材の育成事例公開のお知らせ

変革共創型コンサルティング事業およびそのノウハウをフルオープンに提供する研修事業を手掛けるケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ株式会社（本社：東京都、代表取締役社長：榊巻亮）は、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社（以下、CTC）における上流コンサルティング人材の育成を支援し、その成果をまとめたお客さま事例記事を公開しました。



本事例では CTC の「顧客ニーズや競争環境の変化に対応するため、システムインテグレーションの上流工程へ支援範囲を広げる」という挑戦に対し、ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズが提供する「プロ

ジェクトリーダーおよびプロジェクトチーム養成学校」(以下、養成学校)を通じて、プロダクトありきから顧客課題起点へのマインドチェンジと、上流工程を進める実践的な型の習得を実現したプロセスと成果を紹介します。

【事例記事はこちら】

https://www.ctp.co.jp/case_study/case860/

■本事例に至った背景

大手 SIer である CTC では、IT プロダクト販売とシステムインテグレーションを強みとしてきましたが、近年顧客から IT インフラのスリム化や将来 IT 構想のための要求整理など、上流工程からの支援を求められるケースが増加していました。さらに、中期経営計画における「ビジネス変革への挑戦」や市場の競合環境の変化を受け、IT 企画・構想を提供する上流コンサルティングチームを立ち上げました。

立ち上げにあたり、従来のシステムインテグレーションで求められるお客様の要件を正確に実装する思考から、顧客の真の課題を引き出し、解決策を提示する顧客課題起点の思考へとマインドセットを転換し、上流工程を体系的に推進できる人材の育成が必要でした。

■ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ選定の理由

CTC では、デジタルスキル標準 (DSS) を参考に定義した上流コンサルタントに求めるスキルに基づき人材を育成するにあたり、現場で即座に使えるノウハウと型の習得を重視していました。

そこで、現役コンサルタントの実践に裏打ちされた方法論を大量の演習と宿題を通じて手を動かしながら実践的に学べる点を評価し、ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズの養成学校を選定いただきました。

■養成学校の成果

受講を通じて、ゴール・コンセプトの明確化や、チームビルディングの手法 (ノーミング) など、再現可能な上流工程の型を習得しました。また、取り扱う IT プロダクトから提案を考えるのではなく、顧客の課題を起点に仮説を立て、検証しながら施策を検討する考え方を学びました。

受講後は、実案件でのチーム立ち上げやプレゼン資料のストーリー構築において受講者が自律的に学びを実践しているほか、受講メンバーが部内の他社員の提案書作成をガイド・支援するなど、組織全体へ学びが波及する成果が生まれています。

■今後の展望

CTC は今後、養成学校で培った型を実際の案件で着実に実践して成功実績を積み重ねるとともに、チームとしての強みを明確に言語化し、社内からの案件相談や独自の提案を通じて、自律的に上流案件を生み出せる組織づくりを目指します。

■ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ代表 榊巻亮 コメント

CTC 様の取り組みは、変化する顧客ニーズに対応し、SIer の強みを活かしながら上流工程へと支援範囲を広げる意欲的な挑戦です。養成学校で提供する実践的な型と顧客課題起点へのマインドチェンジのアプローチが、受講者様の自律的な現場実践や組織内への波及につながったことを大変光栄に感じております。今後も CTC 様の上流コンサルティング事業の発展を心より応援しております。

■ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ株式会社について

<https://www.ctp.co.jp/>

ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズは「お客さまと変革を共創しながらプロジェクトを成功させる」のが得意なコンサルティングファームです。自社のやり方や都合を押し付けるのではなく、お客さま自身の変革マインドを引き出し、実行可能で納得感のあるゴールをお客さまと共に決め、部門横断型の難解な課題や抵抗勢力など変革を阻む壁を超えながら、変革プロジェクトを成功へと導きます。

また、2023 年にスタートした養成学校事業で、こうしたわたしたち独自のノウハウを包み隠さずお伝えしています。

■お問い合わせ

ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ株式会社 マーケティングチーム

担当：田窪

お問い合わせフォーム：<https://pages.ctp.co.jp/contact.html>

以上